



道連ニュース

2012年11月号 No.77

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

全労済北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

国際協同組合年記念・国際シンポジウム参加報告

国際協同組合年に際し、協同組合の認知度を向上させることが求められています。11月22日、日比谷図書文化館にて「協同組合の経済的社会的インパクト：可視性をいかに高めるか」というテーマでシンポジウムが開催されました。講師はイギリス・スターリング大学教授のジョンストン・バーチャル氏とカナダ・サスカチュワン大学教授のルー・ハモンド・ケティルソン氏、コメンテーターは駒澤大学教授の小栗崇資氏でした。バーチャル氏は「組合員所有の事業体といった協同組合固有の本質に焦点を当てるべきで、協同組合として期待されることを実行していることを見せていくべき」と語りました。ケティルソン氏は「地域の経済開発と人的な能力開発が組合員へのインパクトとな

る」と述べ、小栗氏は「協同組合は事業体とアソシエーションの2つの特徴を備え、社会・コミュニティを豊かにし変化させる。アソシエーションの力を強めることが市場経済を超える展望を与える。」とコメントした上で、グローバル化が協同組合に与える影響を質問し、バーチャル氏は「市場のシェアを大きくしたいと考えると大規模にならざるをえないが、大きさは問題でなく、小さいローカルなシステムが発展していればうまくいっていると考えられる」と応えていました。



左がケティルソン氏、右がバーチャル氏

灯油の安定供給・危機管理を ～北海道地方灯油意見交換会～



11月20日、道と北海道経済産業局の共催で開催されました。当会の前川専務と(株)エネコープ奥山専務が委員で、コープさっぽろ林理事・前濱事務局長はオブザーバーとして参加しまし

た。灯油価格の透明性や価格上昇が懸念されますが、寧ろ昨年の大震災を受けての危機管理が心配な旨の意見表明をしました。

備蓄確保法の改正があるものの、災害時の共同計画などが事業者依存だからです。今年の岩見沢の様な豪雪や急な寒波の襲来などへの対応が要ります。道連灯油対策委員会(休止中)の再開を含む注視が肝要です。

「市民後見人」学習会開催日程決まる

この間の事業提携推進委員会の活動推進状況についてご報告致します。

10月22日の第5回事業提携推進委員会で開催が要望されました「市民後見人」学習会は、北星大学教授杉岡直人先生を講師にお招きして、12月12日(水)PM 3:30から5:00まで、全労済会館2F大会議室で開催の運びとなりましたのでお知らせします。詳細は下段の告知欄をお読みください。

住宅生協さんからコープさっぽろさんに申し入れがありました。リフォーム事業の提携について話し合いを進めています。年明け以降春先のリフォーム需要に

向けて、拠点店舗の「ふれあい広場」機能を活かし、宅配の配達ルートでの宣伝も合わせて事業提携を推進します。

「学習塾構想」の推進活動では、11月21日の札幌退職教職員協議会の10支部合同役員会(80名参加)で、「学習塾構想」を説明し、塾の講師陣と先生方の構想参画の呼びかけを行いました。後日の反応が楽しみです。

学習塾構想：経済格差の拡大・定着⇒教育格差の拡大という状況打破に向けて、事業提携活動の一つとして、家庭の事情で教育を十分に受けられない子供たちへの教育格差是正サポート活動のこと。

お知らせ

市民後見人学習会

□日時:12月12日(水)

13:30～15:00

□会場:全労済北海道会館
2F会議室

札幌市白石区菊水3-4

理事会・拡大新年会

□1月17日(木)

15:00～理事会

16:30～新年会

□会場:KKRホテル札幌

札幌市中央区北4西5

<お詫びと訂正>

役員・幹部職員研修会及び税務講習会の日程が、変更になります。

当初、2月19日とご案内いたしました。正しくは、2月1日(金)開催となります。

大変申し訳ございません。

3番目のホーム「イリス南郷通」開設しました

11月16日、さっぽろ高齢者福祉生活協同組合の3番目のホーム、サービス付き高齢者向け住宅「イリス南郷通」が竣工を迎え、日頃お世話になっている方々へホームのお披露目をさせていただきました。

「イリス南郷通」はお元気な方から介護が必要な方まで、「どのような介護状態になっても安心して住み続けられる住まい」として札幌市白石区南郷通6丁目に開設、全戸数169戸（一般住戸131戸、介護専用住戸38戸）の大型ホームです。19日には介護専用住戸の入居が始ま



り、21日より一般住戸のご入居が始まっております。一般住戸は既に全室ご予約済みとなり、11月中には約6割、年内に9割以上のご入居が完了します。ホームには訪問介護・訪問看護・居宅介護支援・福祉用具貸与の事業所を併設し、地域の高齢者の生活もサポートできるケアの拠点づくりを目指します。



来春は通所介護・福祉有償運送事業所の開設を予定しています。「私らしい生活、わたしが望む生活」の実現を目指し、生協の職員が皆様を支えています。

コープさっぽろ 「食べるたいせつフェスティバル」開催

9月23日～11月11日までの期間、「食べて、つながう、おいしい北海道！」を全体テーマに全道7地区にて食べるたいせつフェスティバルを開催しました。各会場とも大盛況で昨年を上回る18,925名の方々が会場に足を運んでいただきました。各会場はマルシェをイメージしたデザインで造作し、地域の特産物や

有機農産物・ご近所野菜など多くの生産者やお取引様などのご協力のもと大人から子どもまでが楽しみながら学ぶことができる地域のイベントとしての位置づけが更に進みました。

今年は、地区内の高校や大学による出展やスタッフとしての支援協力、子ども体験学習コーナーの増設、

地区別開催状況

日程	地区	会場	地区別テーマ	来場者数
9月23日	苫小牧地区	苫小牧市民会館	胆振・日高・まるごと食べて元気よく！	1,481名
10月6日	帯広地区	アグリアリーナ	～十勝のめぐみ・つながる笑顔	2,416名
10月14日	函館地区	函館総合卸センター	なるほど発見！地産地消で美味しい道南	1,568名
10月21日	北見地区	北見総合卸センター	オホーツク・マルシェ	1,470名
10月27日	釧路地区	貝塚店駐車場	食べて！学んで！くしろはうまい	2,220名
11月3日	札幌地区	つどーむ	食べて、つながう、おいしい北海道！	6,190名
11月11日	旭川地区	地場産業振興センター	知ろう、食べよう、大雪の恵み	3,580名

ご当地ゆるキャラ参加、楽しいステージイベントなどを多く企画したことで全ての会場が元気に溢れ賑やかな雰囲気となり、来場者の満足度UPに繋がりました。

お米脱穀体験コーナー



野菜コーナー



ゆるキャラ大集合



コープさっぽろ 2012年10月26日(金)ホテルポールスター札幌

第4回福祉講演会「これからの社会保障と福祉を考える」

今年度福祉講演会は、北海道生活協同組合連合会の後援も得て開催され、150名の方々が参加、宮本太郎先生の貴重な講演に、熱心に耳を傾けていました。宮本先生は、戦後日本の社会保障の特質を指摘、それが90年代半ばより2つの変容（雇用情勢と少子化の中での家族）によって、揺らぎ始め、財政構造がさらに足かせとなっている現状を示めされました。

高齢世代の社会参画と年金問題、若者の就労、女性の参加と子育て支援、生活保護問題等の各課題にも触れつつ、明るい展望を創り上げるべく、掛け捨て型から貯蓄型への税への「負担」観を変える重要性も訴えました。

最後に、新しい福祉国家・福祉社会のかたちとして、雇用か保障かの2者択一ではない就労チャンスや困窮

化リスクを分散できる複線型社会、教育～雇用～社会保障の一直線の人生ではない行きつ戻りつの社会、剥き出しの生存競争でも、結果の平等主義でもない参加の機会と場が行き渡る新しい平等社会の3点を提示、広い討議を呼びかけました。

参加者アンケートでは、20代から90代まで、幅広い参加があり講演内容に対しては、86%の方が大変よかった、よかったと答え社会保障と福祉の今後に大きな関心があることがわかりました。

